

令和3年度  
地域経済動向調査報告書

令和3年12月  
登米中央商工会

# 令和3年度 地域経済動向調査

## 1. 調査の目的

地域の事業者が今後持続的発展を目指していくためには、自社を取り巻く経営環境の変化や地域経済の動きを常に的確に把握し、新たな需要開拓等の環境変化に対応した経営戦略を策定していくことが必要である。

特に昨年から続く新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、地域情勢が大きく変動していることから、地域の事業者の現状と課題を把握しながらこの状況を乗り越える事業活動が非常に重要となる。

このことから、地域経済動向に関する必要な情報を収集・整理し、広く情報発信することにより、地域内事業者の経営課題の明確化を図り、事業計画策定等の基礎資料として活用していくため本調査を実施する。

## 2. 調査の方法

### (1) 調査の対象

本会管轄の710事業者を対象にアンケート調査を実施した。

### (2) 調査の方法

郵送にてアンケート用紙を送付し、所定の調査項目に基づいて調査を実施した。

### (3) 調査実施期間

令和3年10月1日から令和3年10月29日

### (4) 調査項目

- ・事業所の基本情報（事業形態、業種、営業年数、従業員数）について
- ・新型コロナウイルスによるマイナス影響について

- ・新型コロナウイルスに対する支援策の利用状況について
- ・今後のウィズコロナ社会に対応していくための取組について
- ・現在直面している経営課題について
- ・商工会に対する意見、要望について

### 3. 調査の結果

上記の通り調査を実施し、期間中に75事業者より回答を得た。回答の集計を行った結果は以下の通りとなっている。

#### (1) 事業形態

個人事業者	32件	法人事業者	43件
-------	-----	-------	-----

#### (2) 業種内訳

製造業	12件	建設業	8件
卸・小売業	25件	飲食・宿泊業	6件
理・美容業	5件	サービス業	13件
その他	6件		

※サービス業に含まれる業種（自動車整備業、不動産賃貸業・管理業、娯楽業、運輸業、専門・技術サービス業、保険販売業、マッサージ店など）

※その他に含まれる業種（医療機関、介護施設、農業法人など）

#### (3) 営業年数

5年未満	2件	5年～10年	6件
11年～20年	9件	21年～30年	15件
31年以上	43件		

(4) 常時雇用する従業員数

なし（経営者のみ）	13件	1人～2人	17件
3人～5人	18件	6人～20人	22件
21人～50人	2件	51人～100人	1件
101人以上	2件		

## (5) 新型コロナウイルスによるマイナス影響について

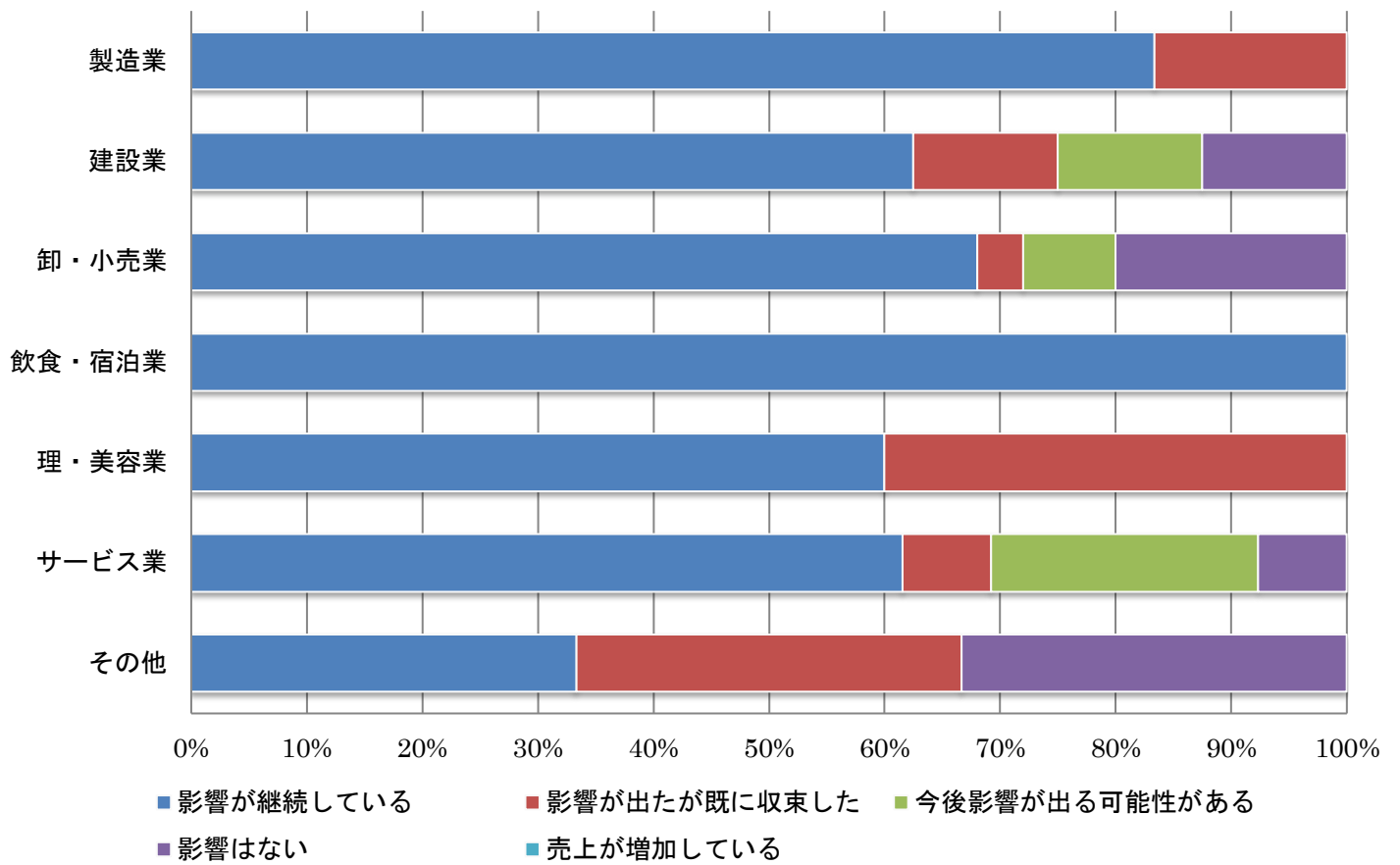
全ての業種の事業者が新型コロナウイルスによるマイナス影響を受けている。

業種間の特徴をしてみると、製造業においては83%の事業者がマイナスの影響が継続している一方で、17%の事業者は収束したと回答している。

建設業については昨年度の調査では「影響が継続している」と回答した事業者は33%で、「今後影響が出る可能性がある」「影響はない」と回答した事業者が50%であったが、今年度ではマイナス影響を受けた事業者が75%となっている。影響を受けた他業種からの仕事の発注が今年度に入り減少したためと考えられる。

卸・小売業についても72%の事業者がマイナス影響を受けていると回答しており、昨年度から大きな変化は見られない（昨年度77%）。飲食・宿泊業とのかかわりの深い業種であるため、厳しい状況が継続すると考えられる。

飲食・宿泊業については昨年同様、回答のご協力をいただいた全ての事業者がマイナス影響を受けている。緊急事態宣言、まん延防止措置を受け、時短営業、休業を強いられるなど、依然として厳しい状況下に置かれている。



## （６） マイナス影響の内容について

新型コロナウイルスによるマイナス影響の内容について調査を実施した。昨年同様、全ての業種で「売上（来店客）が減少」が一番大きな割合を占めている。

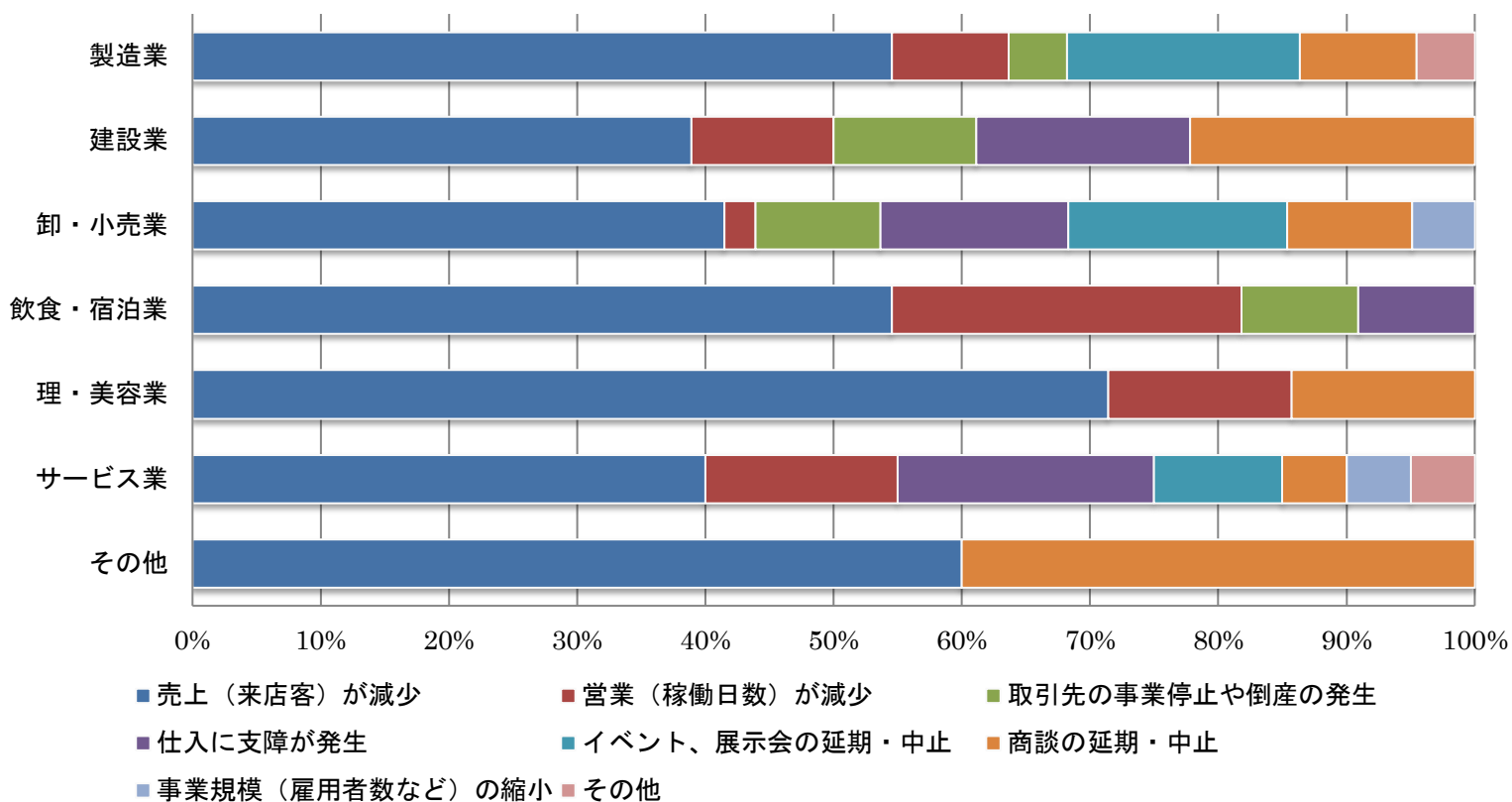
それ以外の内容で業種ごとの特徴を見ていくと、製造業では他業種に比べて「イベント、展示会の延期・中止」の割合が高くなっている。また、昨年度大きな割合を占めていた「仕入に支障が発生」が減少していることから、仕入に係る物流機能も回復傾向にあると考えられる。

建設業については昨年度に比べ「仕入に支障が発生」が大きく増加している。感染拡大の影響により諸外国（特にアジア圏）からの材料仕入の遅延、不都合が多く発生したことが原因と考えられる。

卸・小売業については昨年同様影響の内容が多岐にわたっている。「イベント、展示会の延期・中止」と「商談の延期・中止」など感染拡大防止の観点から催し物は規模を大幅に縮小しての開催か延期中止になるケースが多く、事業者にとって販路開拓の機会損失が生まれている。

理・美容業については昨年度なかった「商談の延期・中止」が高くなっている。

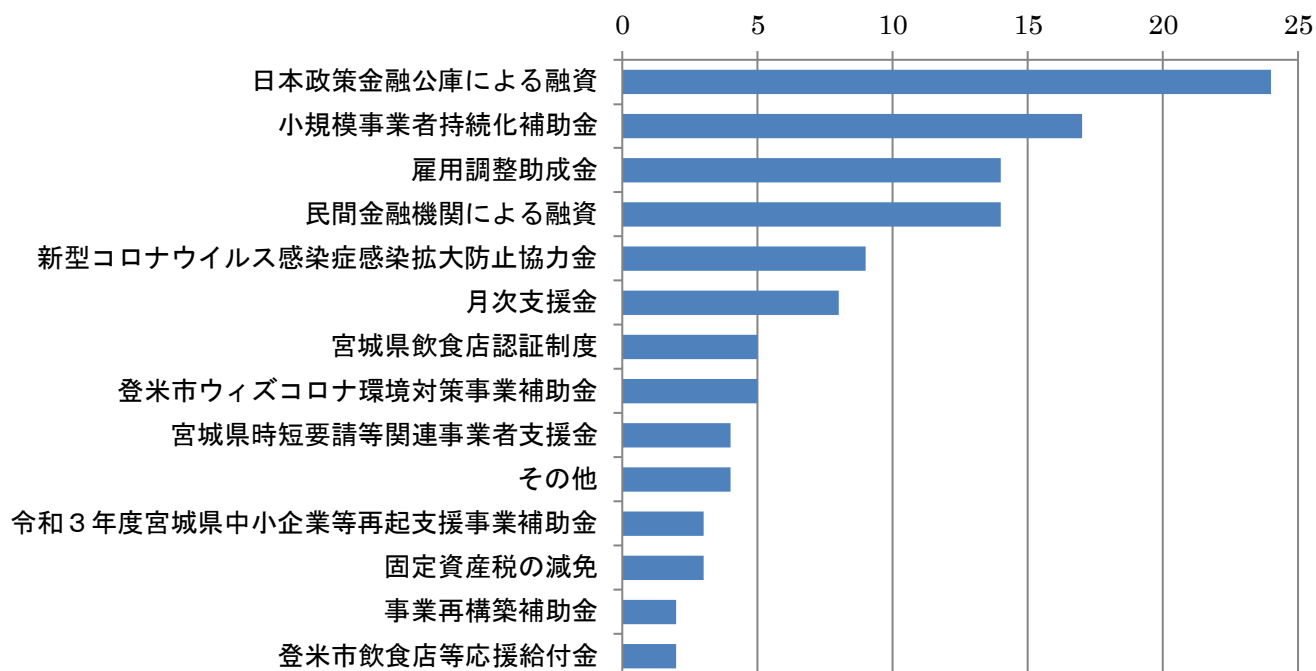
飲食・宿泊業についても依然として団体での利用自粛が続いている。少人数での観光や飲食は回復の兆しが見えているが、今後も新型コロナウイルスの感染状況に最も左右される業種であるため、厳しい経営状況が継続するものと思われる。





## (7) 利用した支援策について

### 【全業種】



※小規模事業者持続化補助金は販路開拓のための補助金

「日本政策金融公庫による融資」の利用が一番多い。次いで「小規模事業者持続化補助金」の回答数が多くなっているが、これは昨年度実施された国のコロナ支援策である「持続化給付金」と混同してしまったためと考えられる。また、休業手当を支給した事業所に対する「雇用調整助成金」や「民間金融機関による融資」などが多く利用されている。その他として回答を得たのは「経営維持臨時給付金（昨年度の施策）」や「特別利子補給制度」などであった。

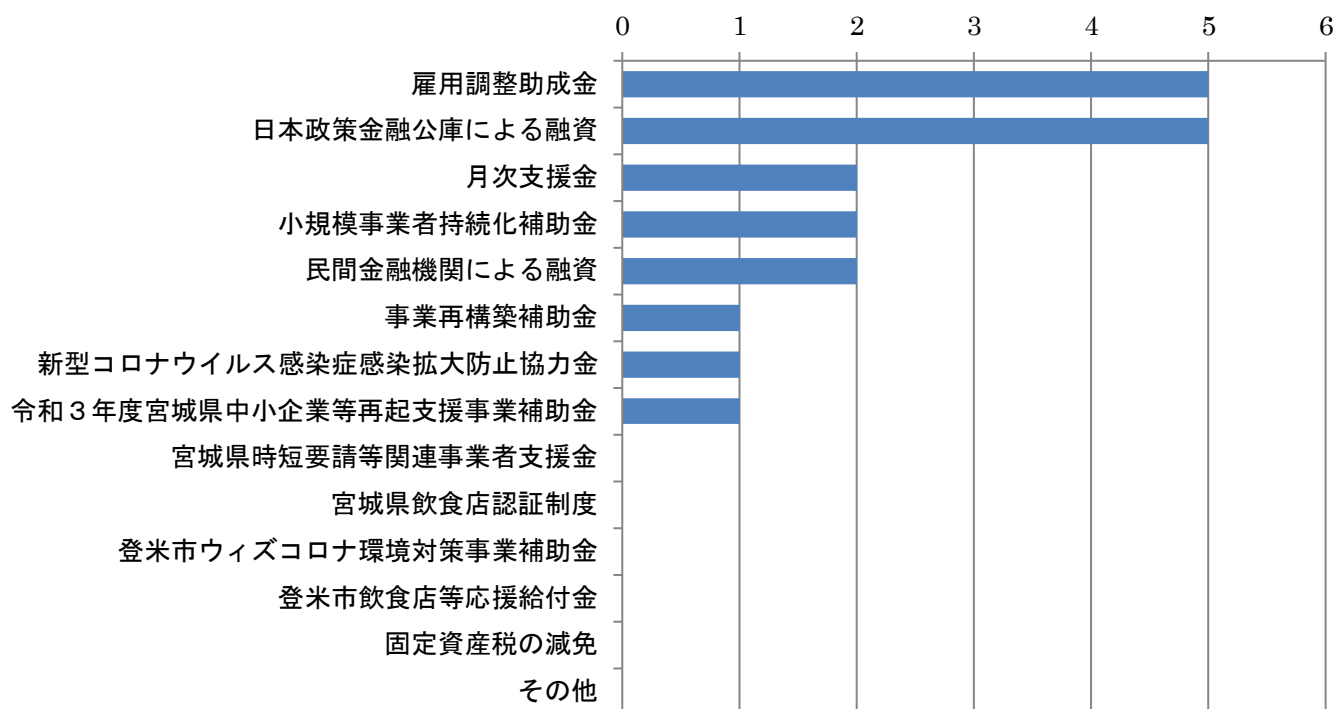
令和3年度についても国、地方自治体ともに多くの新型コロナウイルス関連の支援策が出ている。しかし調査結果からみると、全体的に利用件数も少なく、業種間の偏りも大きいことから、各支援策が本当に支援の必要な事業者へ行き届いているかは疑問が残る。支援策自体の認知度

の低さ、周知不足であること。支援策の内容、支援対象と事業者の実態に乖離が生じている可能性が想定される。

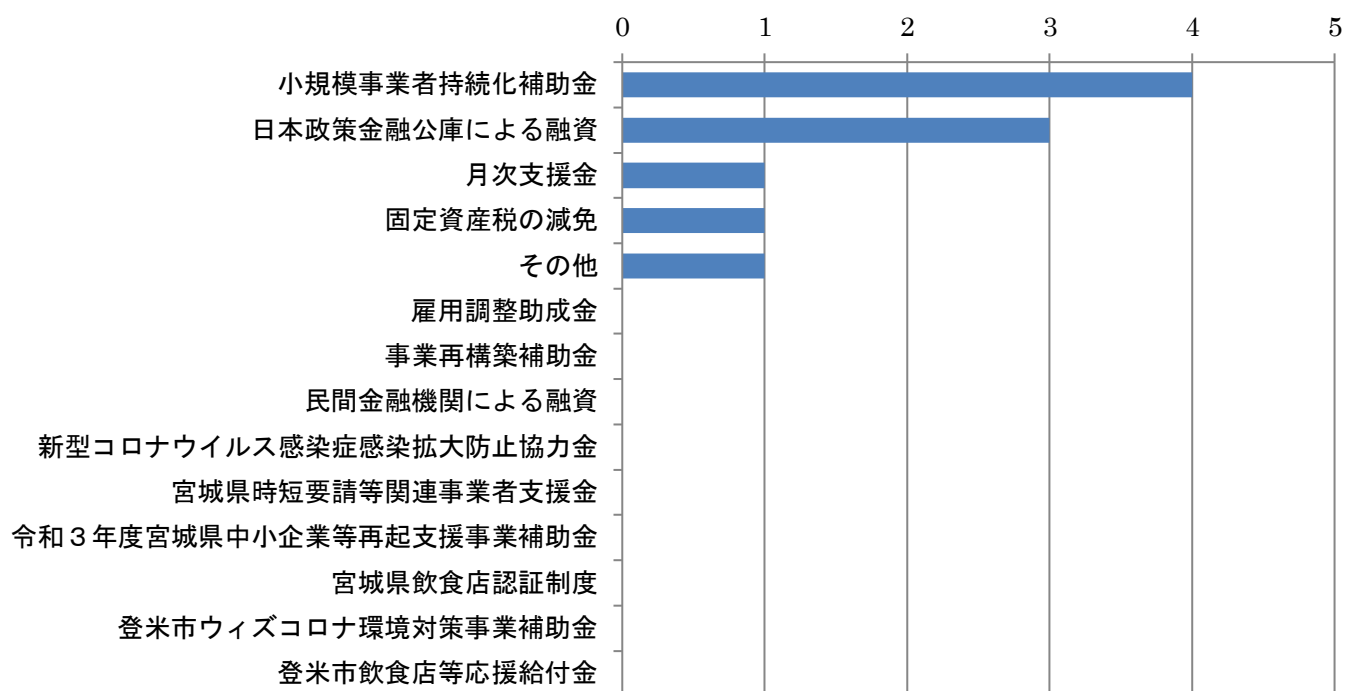
また、一部業種において、本来の事業規模に対して支援金・協力金の供給過多となっているケースも見受けられる。支援金慣れや支援金ありきの経営が継続することで、コロナ禍が落ち着き、支援策が終了した際の反動が懸念される。

各業種の支援策の利用状況は以下のとおりである。

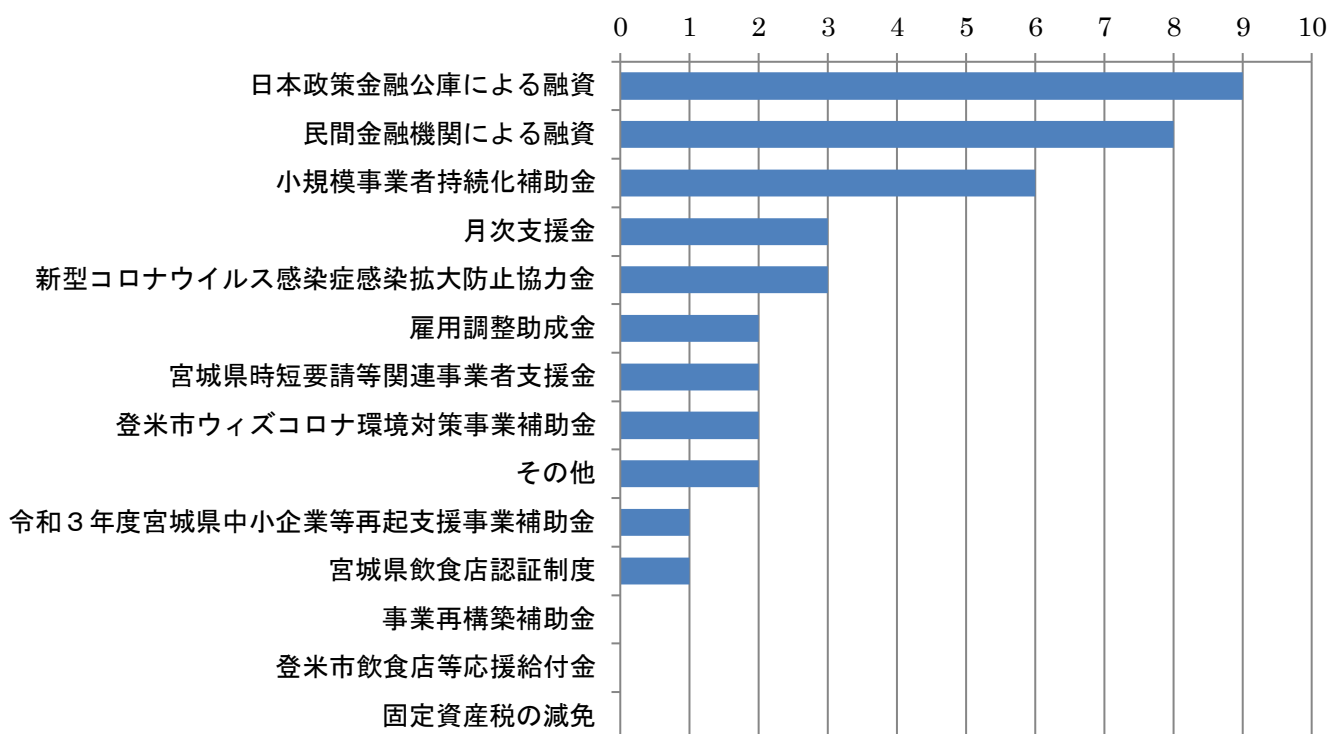
## 【製造業】



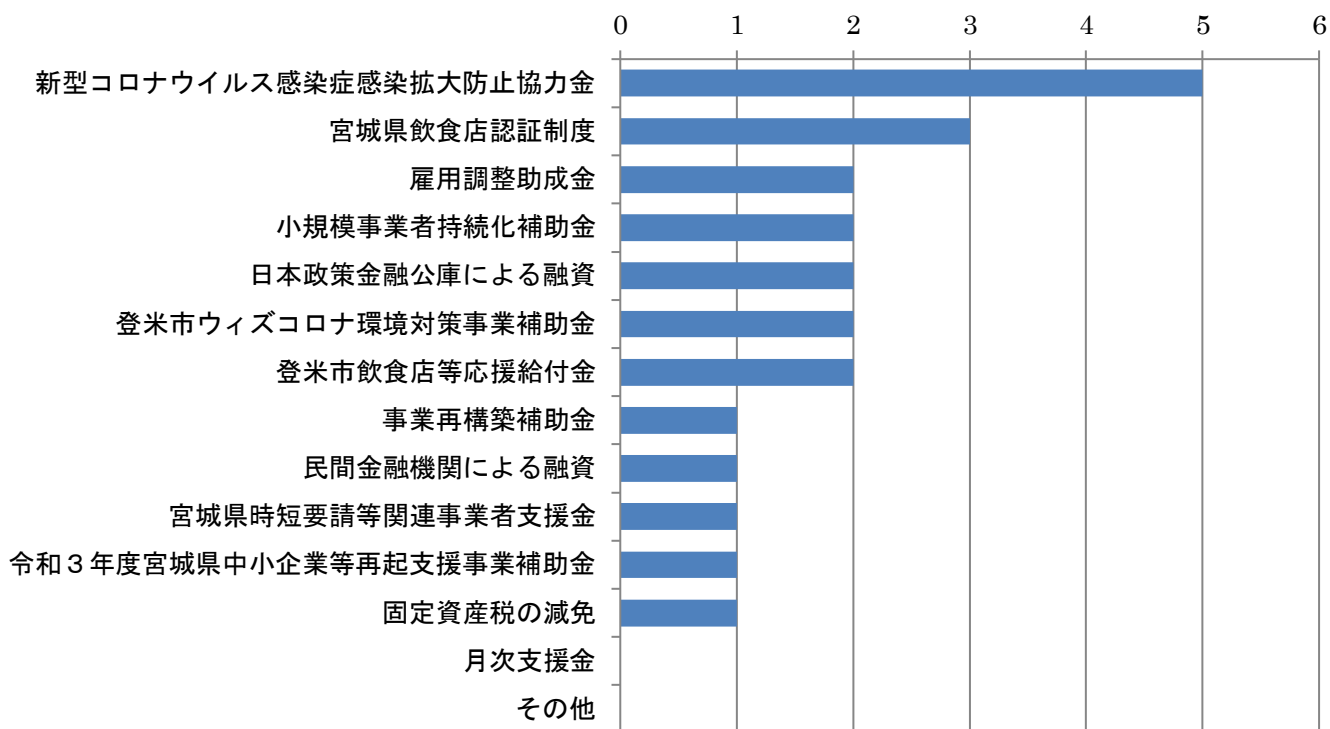
## 【建設業】



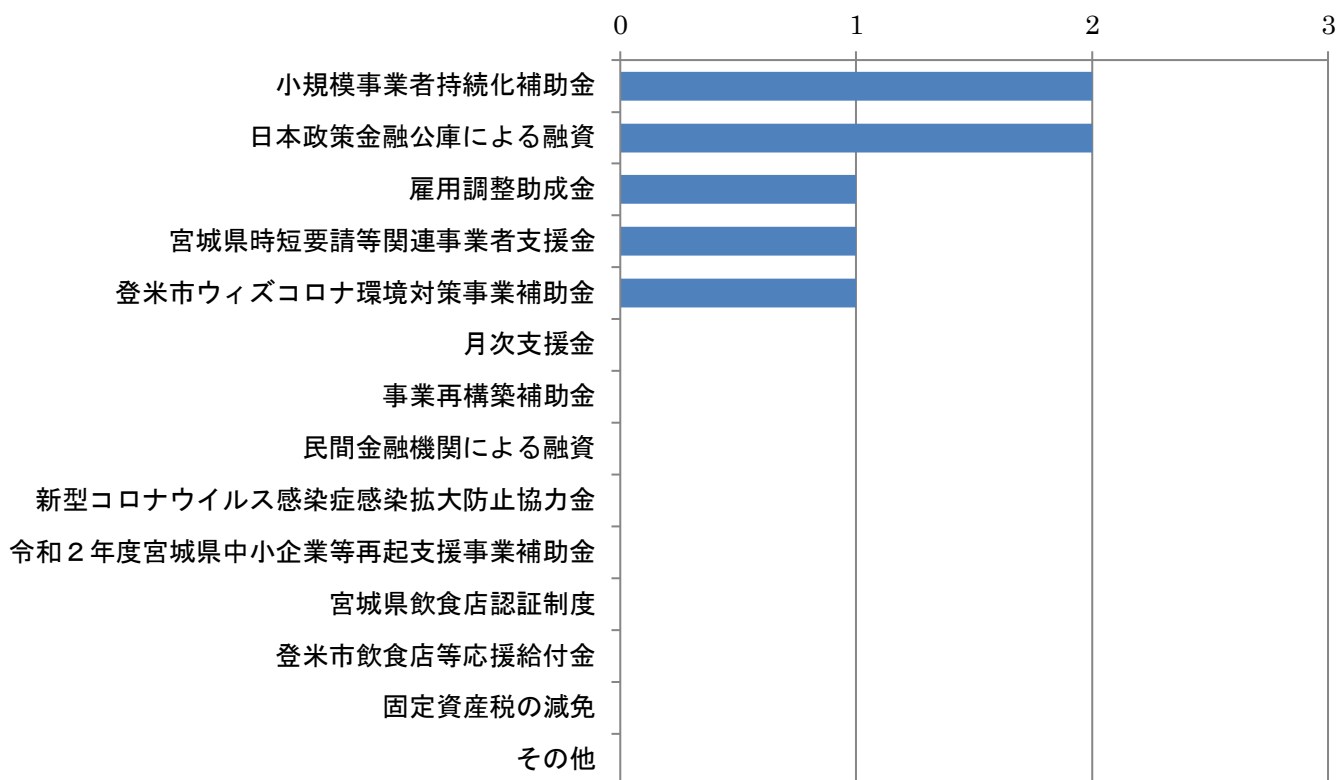
## 【卸・小売業】



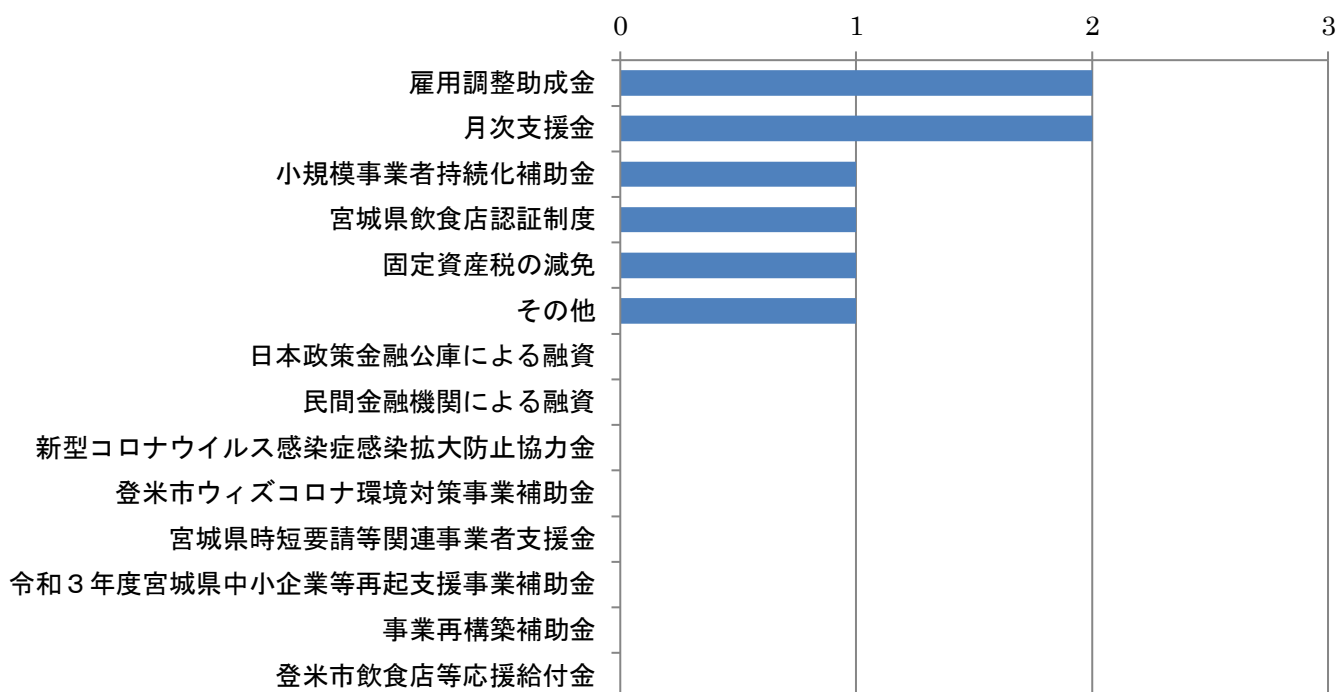
## 【飲食・宿泊業】



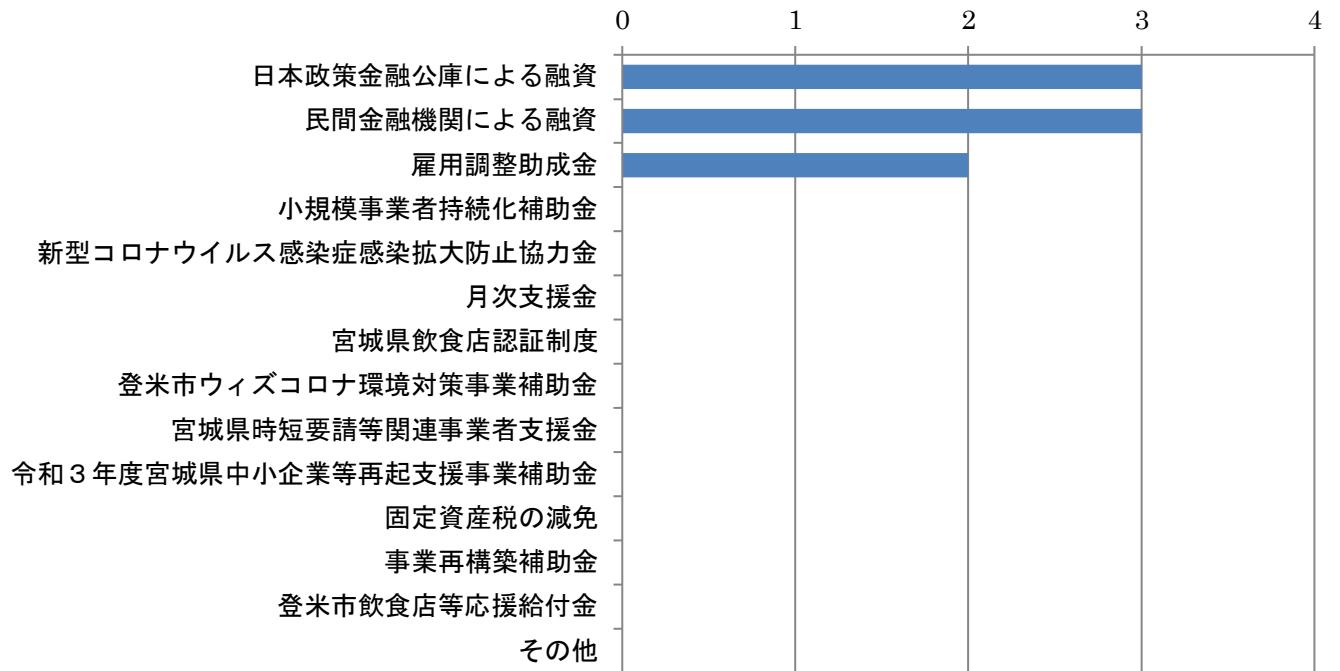
## 【理・美容業】



## 【サービス業】

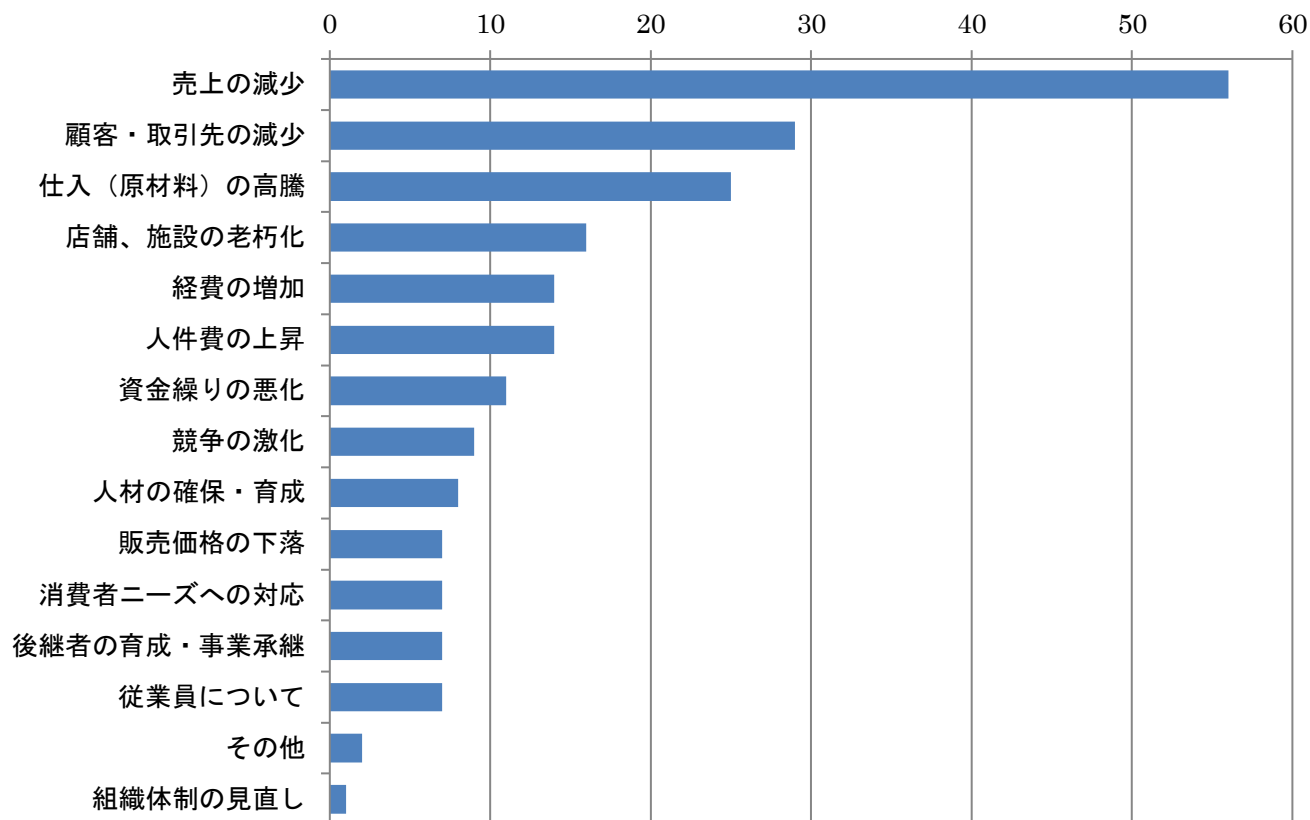


## 【その他】



## (8) 現在直面している経営課題

### 【全業種】



全業種において「売上の減少」が1番の課題となっている。次いで「顧客・取引先の減少」を課題と捉えており、今後自ら販路の開拓を行っていく必要がある。

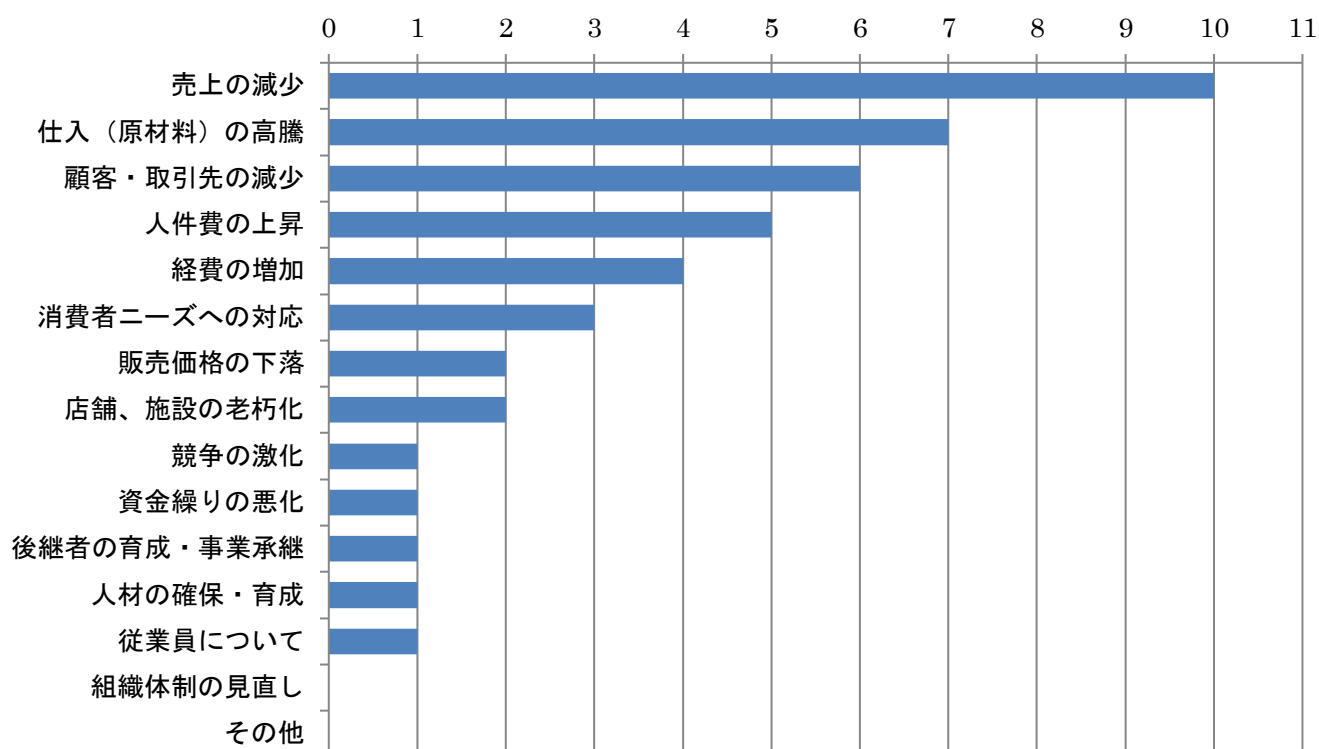
製造業では「仕入（原材料）の高騰」が課題となっており、建設業では「資金繰りの悪化」が増加している。卸・小売業と飲食・宿泊業では様々な課題を抱えているが、「仕入（原材料）の高騰」や「店舗、施設の老朽化」を課題と捉える事業者が多い。さらに飲食・宿泊業では「後継者の育成・事業承継」も課題として挙がっている。サービス業では「店舗、施設の老朽化」と「従業員について」に課題を抱える事業者が多くなっている。

各業種の現在直面している経営課題については以下のとおりである。

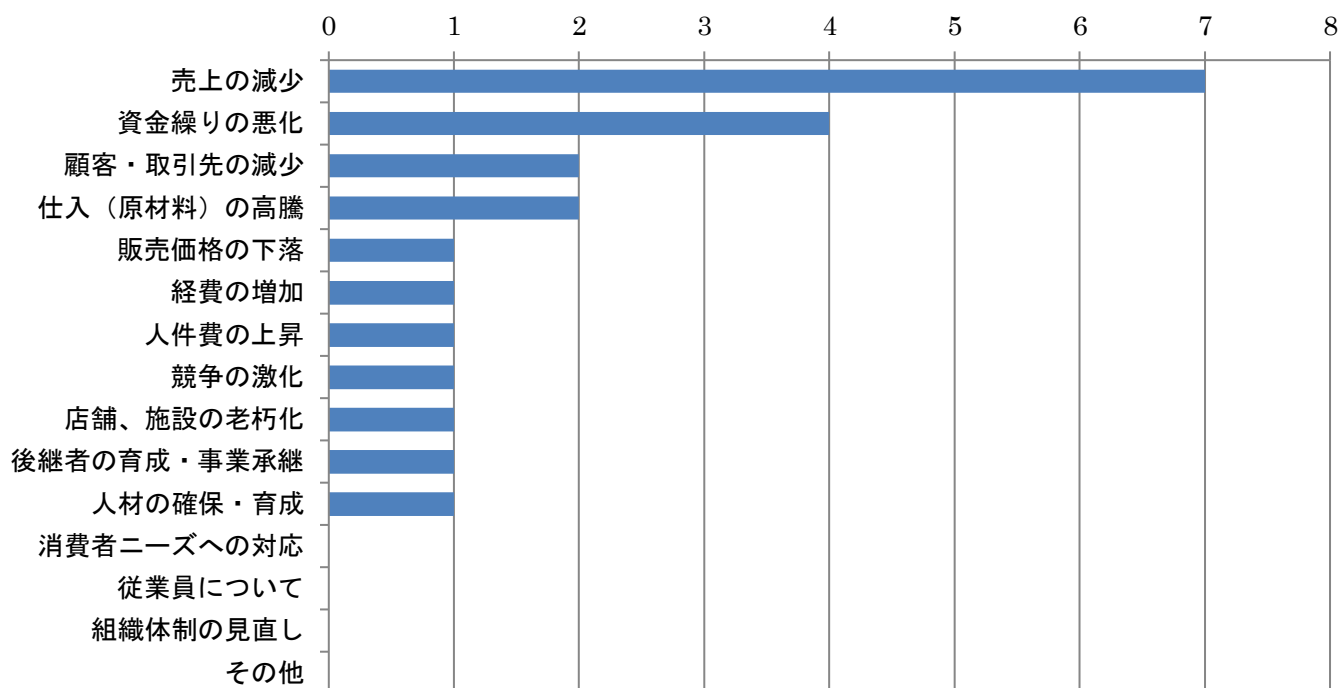




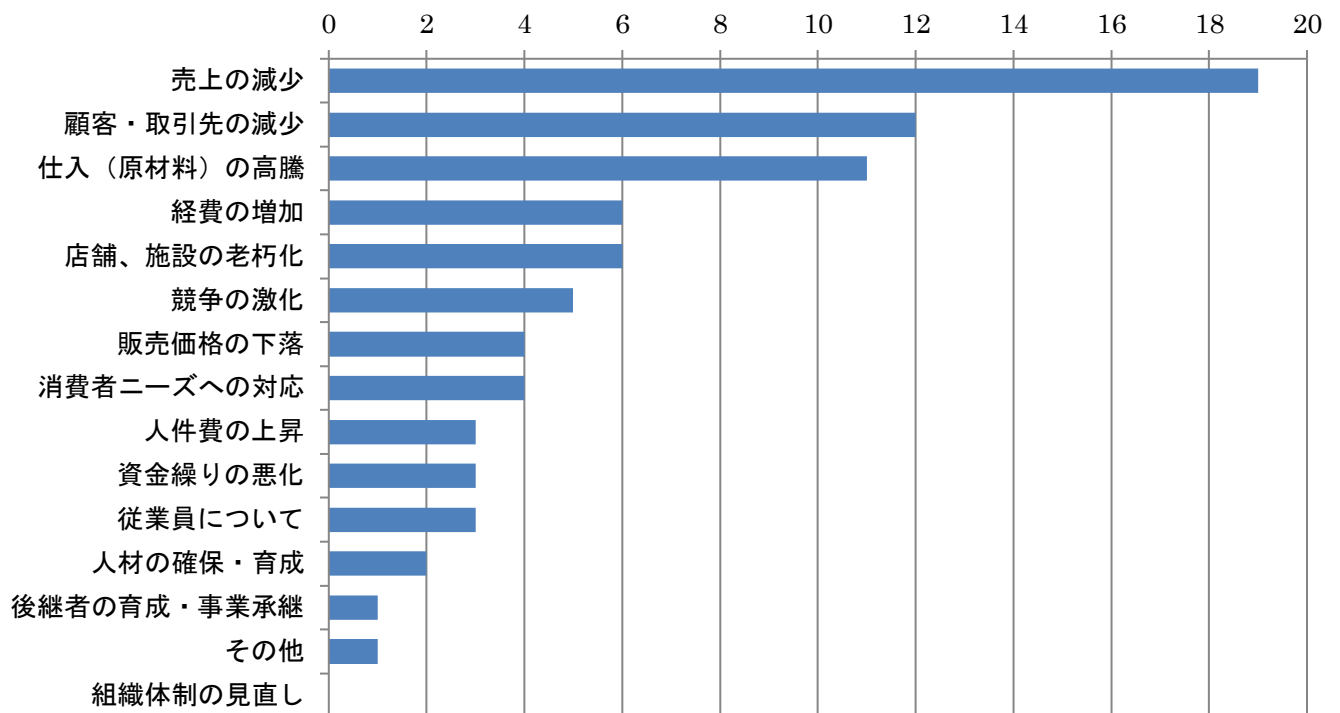
## 【製造業】



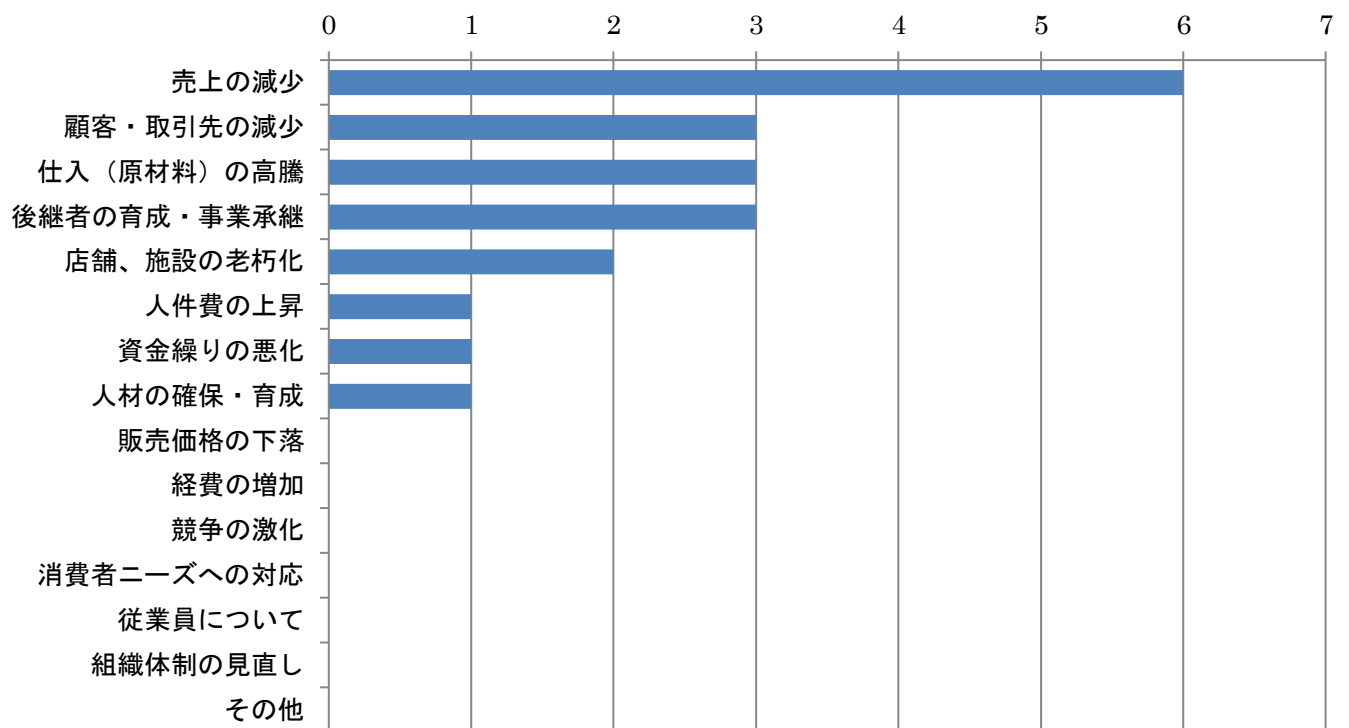
## 【建設業】



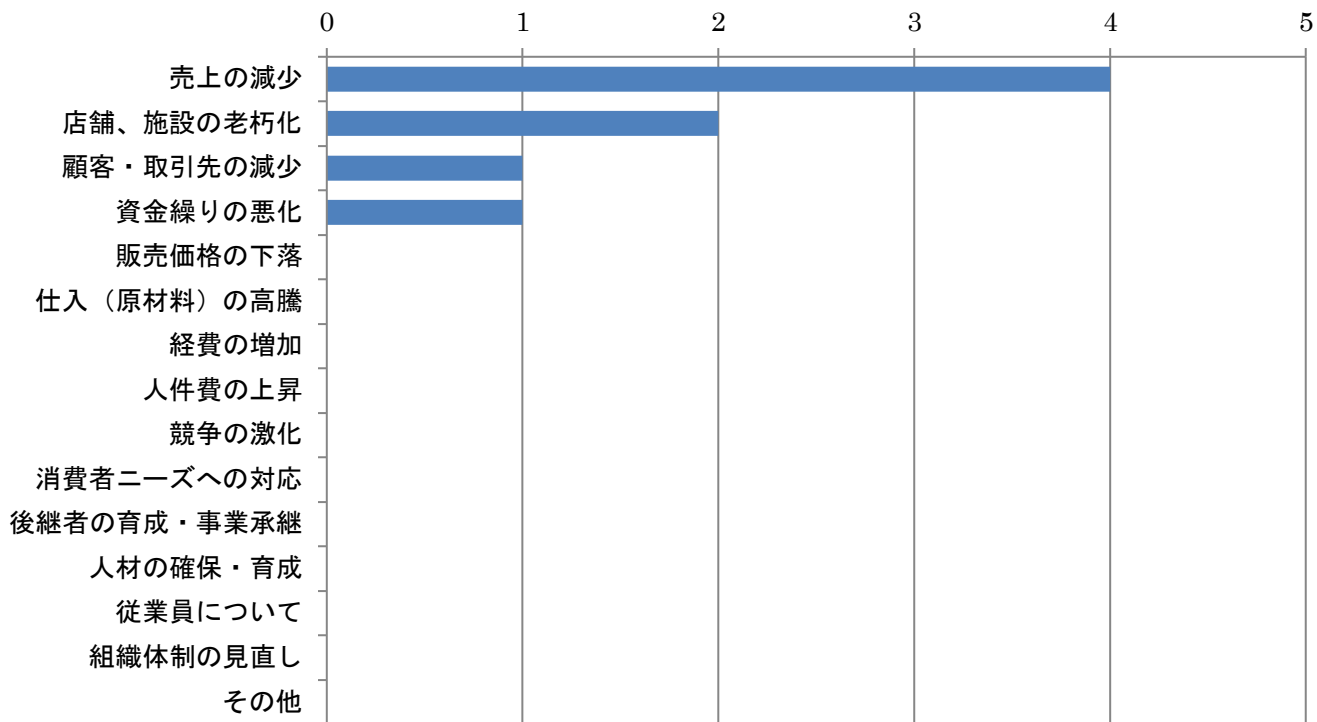
## 【卸・小売業】



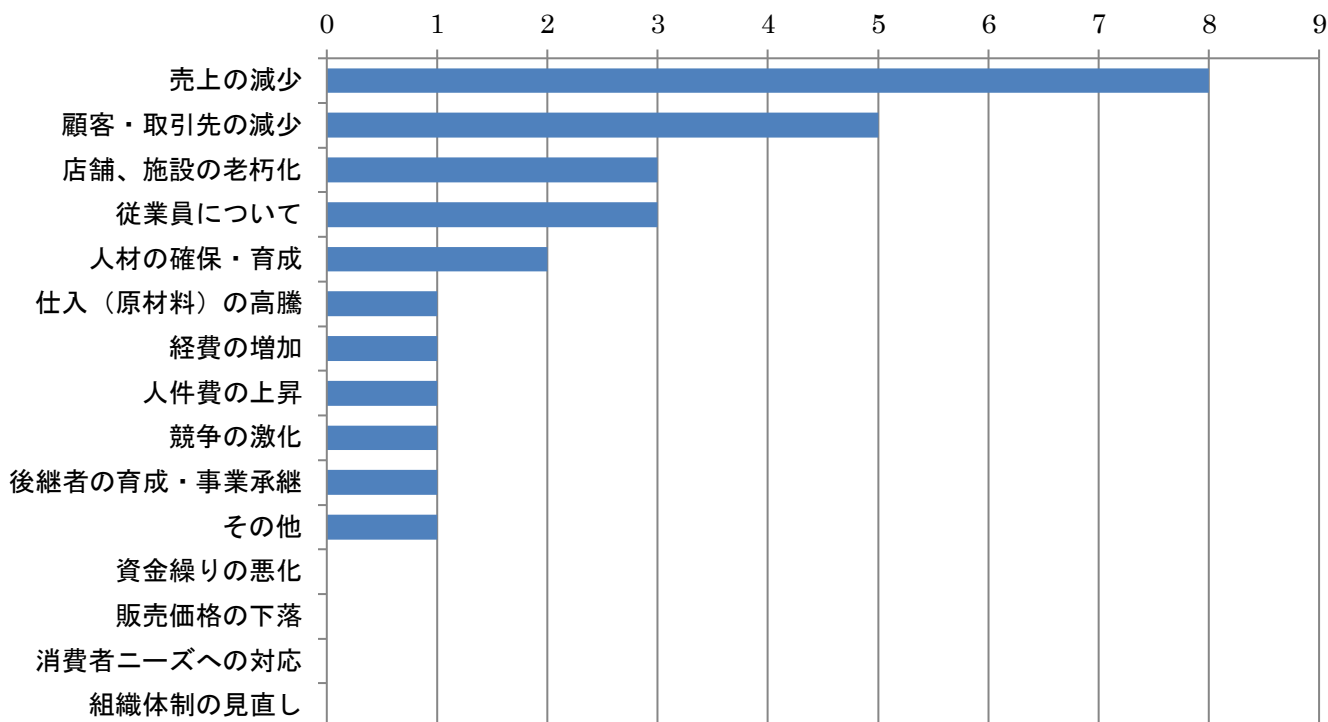
## 【飲食・宿泊業】



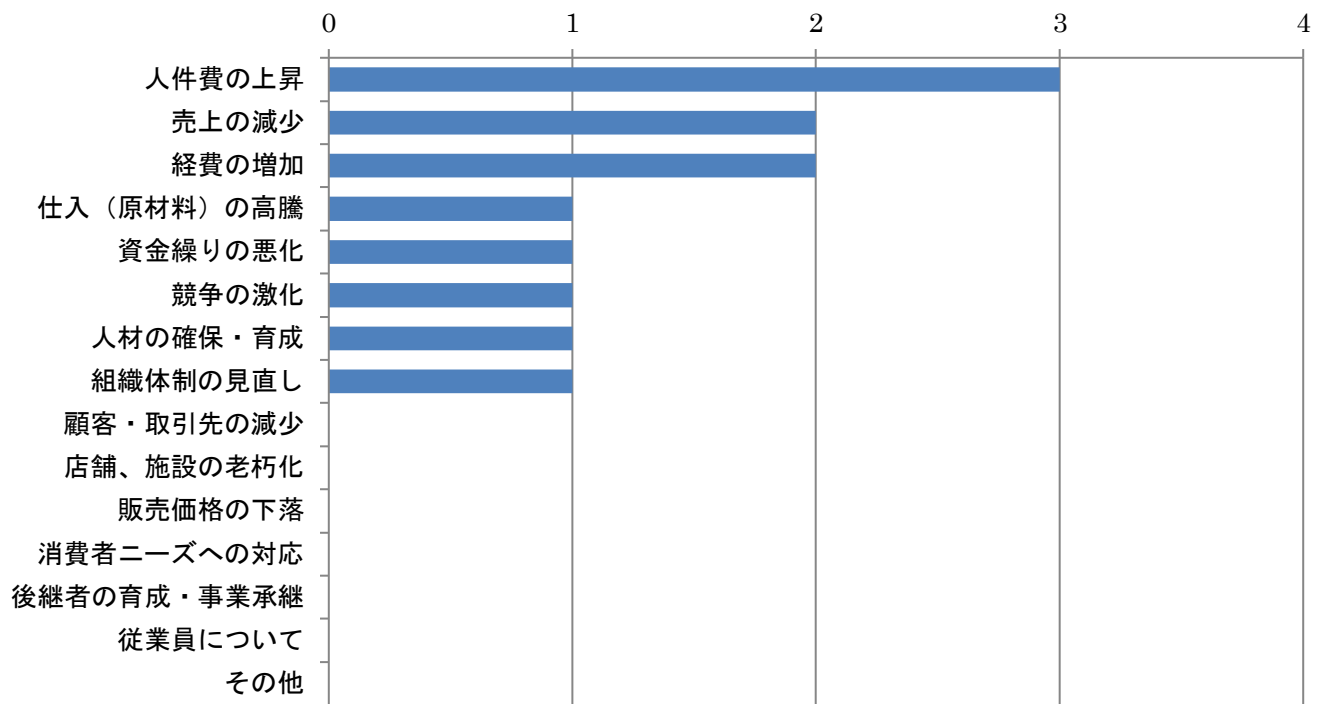
## 【理・美容業】



## 【サービス業】



## 【その他】



## (9) 今後のウィズコロナ社会に対応してくために取り組んでいること

### 【製造業】

- ・マスク、検温、消毒の徹底
- ・食事する際の仕切りビニールの設置
- ・事業用車両の消毒作業
- ・様々なイベントの企画やお客様へのサービス向上を目指し、より多く集客できるように取り組んでいく。

### 【卸・小売業】

- ・アルコール消毒
- ・マスク着用
- ・定期的な換気作業
- ・少人数対応
- ・来客のマスク、手洗い、検温は続けていく。
- ・新メニューを考えていく。
- ・定期サービスや配達が減少したので、販促に力を入れていく。
- ・基本的なマスク着用と手指消毒のみ行っている。
- ・店舗で最低限必要な環境整備を行い、消費者の方々に安全・安心な店舗だと認識していただいた上で、各々の店舗で創意工夫することが大切だと考えている。そのため設備導入はお客様に対する最低限の心配りだと思っているため、早く事業者の共通認識となってもらいたい。

### 【飲食・宿泊業】

- ・手指消毒用のアルコールの設置
- ・テーブル、イス、出入口の消毒作業、換気作業
- ・補助金を活用しテイクアウトに取り組んだ。
- ・お客様の利用目的の選択肢を増やすため、サービス内容を変更した。
- ・感染予防対策の徹底とお客様からの協力を最優先にして営業を続けている。

### 【理・美容業】

- ・お客様が安心して来店頂けるため、消毒、換気、空気清浄機の設置している。
- ・お客様が重複しないように予約を受け付けることに気を付けている。
- ・外出することが減ったため、来店したお客様が気分転換できるようにお店のディスプレイ

- プレイ、雑貨の入れ替えなどお店づくりで工夫している。
- ・リラックスしてもらうため、コミュニケーションの時間をなるべくとるようにしている。
  - ・予約優先にして店内が密にならないように心掛けている。

#### 【サービス業】

- ・非接触型体温計の設置
- ・非接触型の消毒設備の設置
- ・パーテーションの設置
- ・高性能空気清浄機の設置
- ・飛沫防止シートの設置
- ・来店は予約制にして密を回避
- ・お客様へのマスク着用をお願い
- ・ステリPRO（弱酸性次亜塩素酸水）による消毒作業
- ・アルコールによる消毒作業
- ・県のコロナ対策認証制度を受けたため、積極的にPRして知名度を上げていきたい。

#### 【その他】

- ・サービス提供に必要な物品の備蓄（3ヶ月分常時キープ）

#### 【商工会に対してご意見・ご要望等の自由記載】

- ・東日本大震災、台風19号、新型コロナウイルス感染症など災害続きの中で、商工会の金融支援や割り増し商品券販売など大変助かりました。地域になくてはならない商工会です。今後ともよろしく願いいたします。（卸・小売業）

- ・新型コロナ対策で商工会の必要度も高くなったと思います。これが会員増強に繋がればと期待しています。（製造業）
- ・常にお店に対して色々ご配慮頂き、ご指導頂いております。今後も各事業者様に寄り添った対応をして頂ければ幸いです。（理・美容業）
- ・地元の若い方（個人事業主）への支援、経営・お金に関する勉強の場を設けていただき、地域活性化になるようにしていただきたい。少しでも人口減少を抑えられれば良いと思う。（サービス業）
- ・長く続くコロナ禍において商工会に相談することで様々な支援策を知ることができ、苦しい中でも救いになりました。親身になり対応して頂けて心強く仕事への意欲も失わずに済みました。感謝しています。出口が見えてきたこれからがまた何かと大変になると思いますが、困る前に相談することで解決できると思っています。（飲食・宿泊業）
- ・コロナと関係はありませんが、空き店舗や空き工場が多すぎるような気がしています。町全体が暗いので、何とか活用を促進できないかと思っています。（製造業）
- ・コロナ後も地域の核として、なくてはならない店舗を育成強化していくような補助事業等支援措置を徹底して実施し、今後の時代に各町単位で必要不可欠なインフラとして大事に育てていくことが、買い物難民等を発生させないようにするために重要なファクターになるものと考えます。どのような将来像が良いのか、身の丈に合った施策を覚悟して今実施していくことが喫緊の課題ではないでしょうか。（卸・小売業）
- ・商店街（商店）が消えていく時代が続いています。大きな時代の変化（スマホ、大型ショッピングセンター、人口減少、高齢化など）の中で地元商店街の存在意義、存在価値は何かが問われています。精一杯チャレンジしていますが、縮小へ向かっている社会です。SNSの活用も言われていますが、なかなか厳しいのが現状です。取り組み案として、1店舗1品で各店のPRを広告（紙）、SNS、ラジオでやるのはいかがでしょうか（卸・小売業）